

「ベンチャー企業でのソーシャルメディアデータの研究
—食の流行の 現状把握サービスを例に—」

渡邊隼史

ソーシャルメディアデータが現実の実用サービスの現場でどのように使われているかを講演する。

特に、食の流行の現状把握サービスを例に、ベンチャー企業において大学の基礎 研究をどのように現実サービスにつなげようとしているか、その経験を報告したい。講演では、まず、ソーシャルメディアデータがどのように 企業や社会で利用されているか、また、所属ベンチャー企業における研究開発体制など基礎的なことを紹介する。次に、食のキーワード約1万語を利用した食の流行の現状把握サービスについて、背後にある基礎技術やサービスのしくみ、研究開発のプロセスについてデモ等を加えつつ報告する。特に、人数もリソースも限られている中小企業で、営業との連携しながらどのように研究・開発をすすめていくか、どのように大学での基礎研究を実サービスに結び付けようしているのか、その方法、また、難しさについて報告したい。最後に、多言語化などの研究や開発の今後の展開等について述べる。

また、講演では、できれば、大学院での研究の経験が企業での研究でどのように役立っているか、また、新たに学ぶ必要があったことはなにか等、大学と中小企業での研究との異同にも触れたい。